

第38回スーパーコンピューティング・セミナー開催報告

今年度第1回となるスーパーコンピューティング・セミナー（通算第38回）は、「HPC（高性能計算）におけるセキュリティ」をテーマに、7月27日（木）に機械振興会館で開催致しました。今回のテーマは、5月14日に公開した「産応協からの提言『HPCIの産業利活用促進に向けて』」において、HPCIの産業利活用促進には、『HPCI情報セキュリティの現状理解と評価』が必要であるとの取り纏めに基づき、これを受けてのテーマ選定でした。

参加者は、合計45名（一般参加者16名《正会員企業12名、非正会員企業4名》、企画委員9名、実行委員5名、セミナーWGメンバー6名、講師5名、事務局及び支援4名）でした。今回のセミナーテーマは、比較的多くの方にとって業務との関連性が明瞭であったためか、関心を持って受講された方が多かったように思われました。

《プログラム》

- ・ 「サイバーセキュリティ概論」
情報セキュリティ大学院大学教授 大久保隆夫氏
- ・ 「情報セキュリティ10大脅威2017」
（独）情報処理推進機構（IPA）研究員 土屋 正氏
- ・ 「SINET（学術情報ネットワーク）のサービスとDDoS対策への取り組み紹介」
大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
国立情報学研究所（NII）教授 山田博司氏
- ・ 「HPC関連のセキュリティへの課題と対応」
日本電気株式会社プロジェクトディレクター 鎌守直樹氏
- ・ 「[海外調査報告] 産業界から見た欧州HPCシミュレーションの動向」
産応協産業向けシミュレーション・ロードマップTF主査 金澤宏幸氏



